スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

徳島県 徳島市

自 治 体 名 ： 徳島県徳島市
担 当 課 名 ： 徳島市教育委員会 体育保健給食課
電 話 番 号 ： ０８８-６２１-５４２５

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

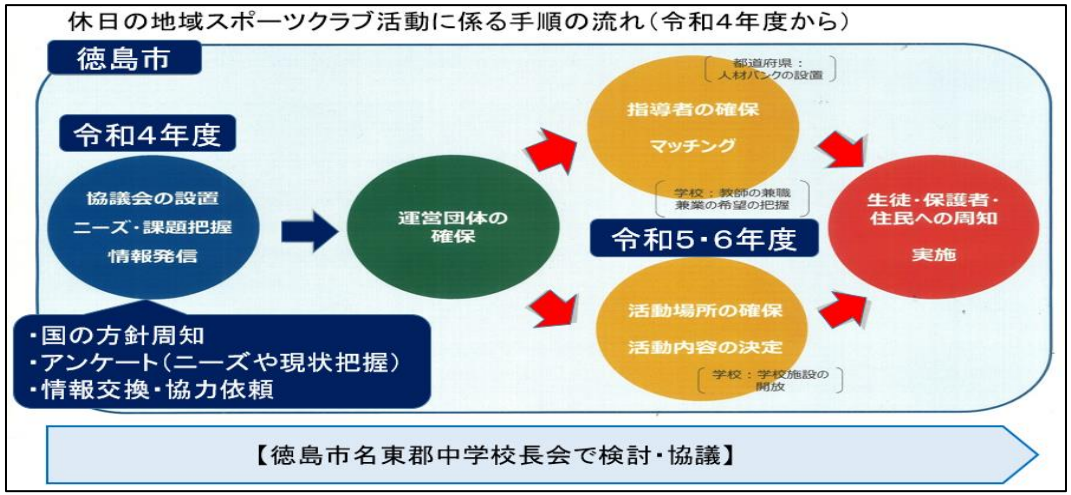
面積	192 ㎢
人口	244,959 人
公立中学校数	15 校
公立中学校生徒数	5,409 人
部活動数	142 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	設置済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

徳島市内には、市立中学校が１５校あり、生徒の約６割（約3,300人）が運動部に入部し活動している。 市内全体で１４２の運動部があり、大規模校では１６の運動部、小規模校では２つの運動部と、学校規模（生徒数）によって部活動数は様々である。自校に生徒が希望する部活動がない場合や、部員数の偏り等で単独でチームを編成できない場合には、合同部活動や拠点校方式による部活動で生徒の競技環境を確保している。

指導者については、多くの学校で、複数の教職員で部活動を指導する体制をとっているが、自身が競技経験のない部活動を担当している教職員は全体の約５５%となっている。競技経験のない部活動を指導する教職員の精神的負担軽減を図るため運動部活動指導員の派遣を行っているが、指導者の確保が難しい現状がある。

令和5～７年度の部活動改革「改革推進期間」に向けて、令和4年度を準備期間とし、生徒・保護者・教職員対象のアンケートや協議会の設置等を実施した。アンケート結果の分析や協議会での検討・校長会との連携等を経て、令和5年度から「休日の地域スポーツクラブ活動」を実施している。



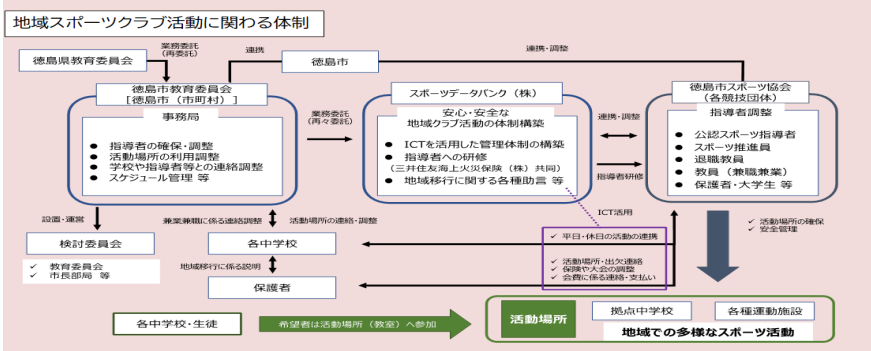
出典：R6【休日の地域スポーツクラブ活動】実施報告（徳島市教育委員会体育保健給食課）

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

▼運営体制図（市区町村における推進体制図）



▼行政組織内での役割分担

◉教育委員会（体育保健給食課）

・各競技団体等との連携（活動場所の調整・業務の連絡等）

・運営事務局（指導者の確保や調整・学校や指導者と連絡調整・スケジュール管理等）

・学校との連携（兼職兼業等連絡調整・各種情報交換・周知説明・協力依頼等）

◉首長部局（文化スポーツ振興課）

・各種スポーツ団体との連携・調整　・公共施設の活用等調整

年間の事業スケジュール

月　日	取組（内容） …検討委員会　…学校関係　…教室関係
5月31日	・「地域クラブ活動推進体制整備事業（実証事業）検討委員会」を開催し、今年度の取組（案）説明
6月・7月	・「徳島市・名東郡中学校長会」で今年度の取組（案）説明
6月21日	・「第1回徳島県部活動の地域移行推進協議会（オンライン）開催／県教委主催」　（徳島市の運営体制報告）
7月1日	・生徒（保護者）に「保護者宛文書」「地域クラブ活動・参加募集パンフレット」配布
7月	・卓球教室会場校の学校訪問（会場視察・打合せ等）
7月	・地域クラブ活動（各教室）開催準備
8月10日～1月末	・「卓球教室」開催　【5ブロック（東部・西部・南部・北部・中部）／各会場15回程度】
8月18日	・「野球教室」開催／応神中
9月21日	・「柔道教室」開催／徳島県立中央武道館
9月・10月	・「徳島市・名東郡中学校長会」で取組状況説明
10月20日	・「ライフル射撃教室」開催／徳島市ライフル射撃場
10月23日	・「第2回徳島県部活動の地域移行推進協議会（オンライン）開催／県教委主催」　（徳島市の取組説明）
10月下旬	・地域クラブ活動（太極拳・ボウリング）追加募集パンフレット配布
11月・12月・1月	・「徳島市・名東郡中学校長会」で取組状況説明
11月16日	・「太極拳教室」開催／トモニアリーナ
12月7日	・「ボウリング教室」開催／スエヒロボウル
1月31日	・「地域クラブ活動推進体制整備事業（実証事業）検討委員会」を開催し、今年度の取組報告
1月31日	・「第3回徳島県部活動の地域移行推進協議会（オンライン）開催／県教委主催」　（徳島市の取組報告）
各教室終了時～	・「地域クラブ活動（体験教室）」参加者（生徒・保護者・指導者）アンケート実施
2月24日	・卓球大会／トモニアリーナ　（卓球教室に参加した1・2年生対象）
2月・3月	・「徳島市・名東郡中学校長会」で報告

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	１８校（鳴門教育大附属中・城ノ内中等学校・佐那河内中の3校含む）	実施した地域クラブ総数	６クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		１ クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		５クラブ
全体の指導者数	５０人	全体の運営スタッフ数	４ 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
卓球教室	徳島市卓球協会	卓球	月２回程度	主に午前中	中学１～３年	8月～１月	中学校体育館（5ブロック5会場）	２～４人	３人（内、兼務２ 人）	１００円／回	大会参加なし
（体験教室）柔道教室	徳島市柔道連盟	柔道	１回／年	9:30～11:30	中学１～３年	9月21日	徳島県中央武道館	２ 人	３ 人（内、兼務２ 人）	３００円／回	大会参加なし
（体験教室）野球教室	徳島市野球連盟	軟式野球	１回／年	9:00～12:00	中学１・２年	8月18日	応神中学校グラウンド	５ 人	３ 人（内、兼務２ 人）	１００円／回	大会参加なし

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
（体験教室）ライフル射撃教室	徳島市ライフル射撃連盟	ライフル射撃	1回／年	10:00～12:00	中学1～3年	10月20日	徳島市ライフル射撃場	１０人（高校生ライフル射撃部員含）	3人（内、兼務2人）	３００円／回	大会参加なし
（体験教室）ボウリング教室	徳島市ボウリング連盟	ボウリング	1回／年	13:30～16:30	中学1～3年	12月7日	スエヒロボウル	5 人	3 人（内、兼務2人）	３００円／回	大会参加なし
（体験教室）太極拳教室	徳島市太極拳連盟	太極拳	1回／年	10:00～12:00	中学1～3年	11月6日	とくぎんトモニアリーナ	1 人	3 人（内、兼務2人）	３００円／回	大会参加なし

2.実証内容と成果

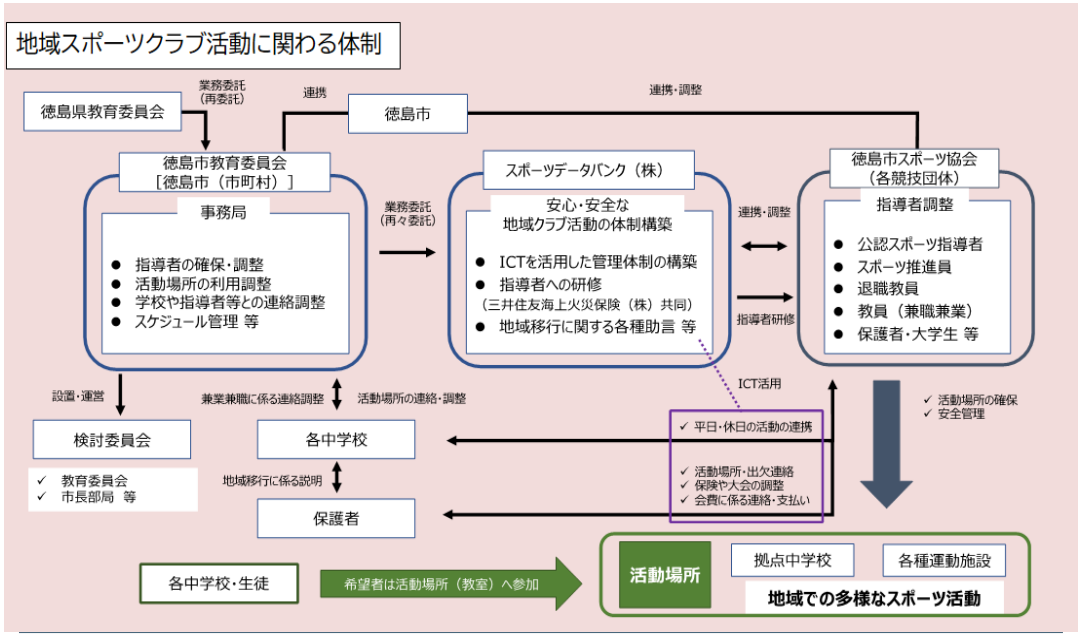
スポーツ庁

主な取組例

●卓球教室　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	卓球
運営団体名	地域クラブ活動 卓球教室
期間と日数	８月１０日 ～ １月３１日 月２回程度
指導者の主な属性	徳島市卓球協会
活動場所	城西中学校・富田中学校・加茂名中学校・八万中学校・南部中学校・川内中学校・応神中学校・国府中学校・附属中学校
主な移動手段	各自（自転車・保護者送迎）
１人あたりの参加会費等（年額）	100円／回
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年 指導者１人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



出典：R6【休日の地域スポーツクラブ活動】実施報告（徳島市教育委員会体育保健給食課）

●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者

役割：活動における管理者として、学校、保護者との連携を行う

●主任指導者　１名

役割：活動における主任者として、生徒への指導を行う

●運営補助者

役割：活動において、主任指導者の補助として、指導を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

■徳島市スポーツ協会と連携し、各競技団体に協力を依頼して指導員確保や派遣・活動場所や活動機会の確保等を行った。

■スポーツデータバンク（株）と連携し、「安全・安心な運営体制や指導者と教職員との連携強化」のため 、ICTを活用した連絡体制等を　構築した。

取組の成果

【事業終了後のアンケートより】

■指導者アンケートにおいて「今回、地域クラブ活動でご指導いただいた理由」として、「所属団体から指導を依頼されたから」と答えた割合が（43%）であった。指導者確保については、各競技団体と連携し協力依頼した成果だと考える。

■生徒アンケートにおいて「指導者の配慮の上、安全安心な活動ができたか」に対し、「できた（100%）」であった。

■保護者アンケートにおいて「安全安心面の対応」として、ICTツールを活用し、活動日時・出欠確認・活動内容や活動終了のお知らせ等行った評価については「とてもよかった」「まあまあよかった」合わせて68%、また「地域クラブ活動の運営について「とてもよかった」「まあまあよかった」合わせて97%であった。

運営管理アプリ



出欠確認



終了・活動報告

（Bandアプリ画面）

今後の課題と対応方針

■今年度の地域ｸﾗﾌﾞ活動は、各競技団体の協力があり６競技（卓球・柔道・野球・ﾗｲﾌﾙ射撃・ﾎﾞｳﾘﾝｸﾞ・太極拳）で開催することができた。
ただし、卓球以外の５つの競技は、指導者や活動場所の確保・参加者数等の関係から、「体験教室」と位置づけ、それぞれ1回の開催とした。
卓球は、競技団体の指導者派遣の全面的な協力のもと、5つの会場で15回、延べ75回の卓球教室を開催することができた。

■当初の予定では、弓道教室も実施予定であったが、「競技団体がすでに年齢や技能等に応じた練習会や講習会等を系統的に実施していること」・「市内中学校弓道部では合同練習を時々行っていること」などから、弓道に関しては地域移行の一つの形として根付いており、本事業をプラスすることで、競技団体をはじめ、関係者に負担がかかると思い、教室自体を中止することとした。

■今後も各競技団体との連携をより密にし、実現可能な形での開催を進めていきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

■スポーツデータバンク（株）と連携し、「指導者の資質向上」のため、指導者に対しeラーニングによる研修を実施した。

■各競技団体と連携し、指導者への研修を支援した。
（スポーツデータバンク（株）と連携し、「指導者マニュアル」を各競技団体に配布し、研修を実施）

指導者属性

職業
- ・会社員３４
- ・教員２
- ・学生１４

属性
指導者は全てそれぞれの競技団体に所属

取組の成果

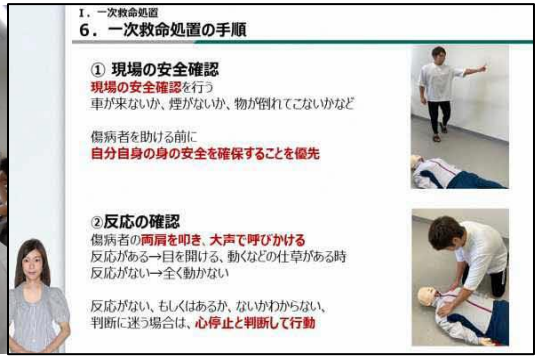
【モデル事業終了後のアンケートより】

■生徒アンケートにおいて「参加した活動の良かった点」として「専門的な指導を受けることができた（72%）」「技術が向上した（78%）」「楽しく活動できた（85%）」「指導者の接し方が良かった（70%）」であった。活動の満足度は「とても満足(66%）満足（30%）」だった。指導者研修の中に「思春期の子どもとの接し方や思春期の子どもの心理等」の内容が含まれていたことは、指導する上で効果的であったといえる。

■保護者アンケートにおいて「指導者に求めること」として「ｽﾎﾟｰﾂ活動の楽しさを伝えること（40%)」「専門的な指導（20%）」であった



【指導者講習会の様子】



【研修用eラーニング画面】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

eラーニングの内容

１．自然災害への対応
・自然災害の基礎知識（特徴、過去の被害など）
・地震対応について（生徒への呼びかけと避難など）
・風水害対策について（指導中止・中断の判断など）

２．救急蘇生法　一次救命措置と熱中症
・一次救命処置（救命の可能性と時間経過など）
・熱中症（熱中症の重症度と症状・治療など）

３．部活動における防犯
・少年法と犯罪発生状況（少年法に関する知識など）
・学校内の犯罪行為に対する対応と事件事例（部活動の事例など）
・犯罪から見た体罰（体罰の定義など）

４．コンプライアンスの重要性とハラスメントの防止
・コンプライアンスとは（部活動指導におけるｽﾃｰｸﾎﾙﾀﾞｰの期待など）
・部活動指導におけるコンプライアンスの基礎知識・（不適切行為の事例など）

５．子どものメンタルヘルス　不調と対応
・思春期のメンタルヘルス（思春期の特徴）
・ストレスについての理解（ストレスが起きる仕組みなど）
・こころの不調への気づきと対応（声かけの「ポイントなど）

６．個人情報の取扱い
・個人情報の基本　・個人情報の適切な取扱い　・ﾒﾃﾞｨｱ利用と漏えい

７．けが予防
・成長過程にある中学生にとって準備運動の大切さ
・ストレッチやトレーニング

受講者の声

・eラーニングは、一項目が10分程度とコンパクトにまとまっているので、やりやすかった。
・項目ごとに研修後の振り返りテストがあったのが良かった。
・中学生を指導する上で、子どものメンタルヘルスについて学べたことは良かった

今後の課題と対応方針

■生徒・保護者の意見として、指導者の丁寧でわかりやすい指導で、やる気や技術向上に繋がったと高評価であった。
■指導者からは「中学生への指導は初めてで不安だったが、生徒がとても前向きで、活き活きと積極的に活動してくれて、生徒の成長する姿をみられてやりがいを感じた。指導者研修の思春期の子供への接し方もわかりやすく参考になった」という意見があり、研修も高評価だった。
■今後も、指導者の資質向上・対応力向上のため、指導者研修は繰り返し実施していきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

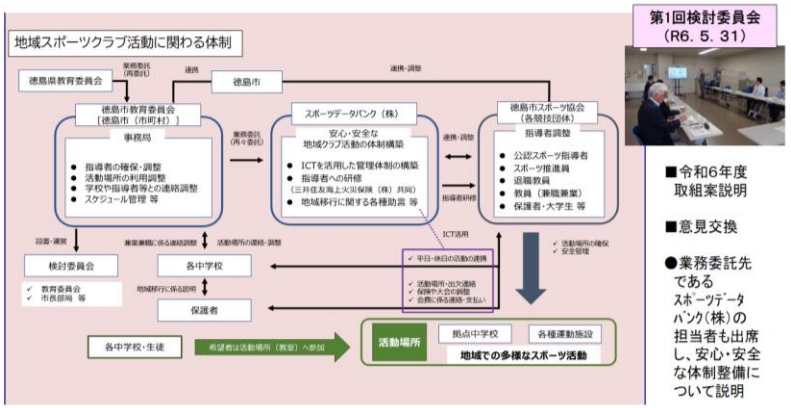
●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

■徳島市スポーツ協会と連携し、徳島市スポーツ協会に所属している24競技団体協力依頼をした。
その結果、６競技団体（卓球・柔道・野球・ライフル射撃・ボウリング・太極拳）で教室開催が可能となった。
■各競技団体と、具体的な内容・体制整備等について協議し、実施に向け取り組んだ。

取組の成果

■徳島市スポーツ協会・徳島市体育振興公社・徳島市名東郡中学校校長会・徳島市中学校体育連盟・徳島市文化スポーツ振興課等の関係者を交え、検討委員会を開催し、意見交換できた。



【関係団体との連携】

■令和6年度
取組案説明
■意見交換
●業務委託先
である
スポーツデータ
バンク(株)の
担当者も出席
し、安心・安全
な体制整備に
ついて説明

【徳島市名東郡中学校長会との連携】
【教室開始前】
■活動場所として学校施設を活用する際の課題等を協議
■運営全般（安全面の配慮、受益者負担金額など）について協議
■卓球教室の会場校選定（意向調査）
■卓球教室の会場校との打合せ（学校訪問・体育館視察・卓球台等備品確認・施錠確認）
【教室開始後】
■実施状況の報告
■実施するなかで生じた課題があれば協議

【各教室について競技団体との連携】
■本事業についての説明
■指導者登録依頼・研修
■日程・会場調整

出典：R6【休日の地域スポーツクラブ活動】実施報告（徳島市教育委員会体育保健給食課）

今後の課題と対応方針

■検討委員会では、各委員のそれぞれの立場から貴重な意見を聞くことができ、連携した取組の重要性を再確認できた。
■各競技団体とは、実施に向け何度も情報交換しながら、協力体制を構築できた。
■具体的な運営面についても、校長会で各校の現状や課題を集約することができ、今年度実施できそうな取組について協力頂けた。
■今後も、各関係機関と連携しながら、取組を推進していきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

取組事項

■徳島市立中学校は、徳島市内に学校がある県立中等教育学校や国立大学附属中学校・近隣の村立中学校と様々な教育活動・行事等で交流しているため、徳島市の取組「徳島市地域クラブ活動（体験教室）」を広く周知し、徳島市立の中学校に限らず、希望者は参加できる体制とした。
■市立学校以外の3校は、それぞれ設置者が違うが、本事業に関しては徳島市教育委員会が運営するものとした。

取組の成果

【モデル事業終了後のアンケートより】
■生徒アンケートにおいて「今回、地域クラブ活動に参加した理由」として「合同での実施であり学校を越えた交流ができるため（19%）」「参加した活動の良かった点」として「新しい友達ができた（22%）」であった。
■保護者アンケートにおいて「今後、学校部活動が地域クラブ活動で移行する場合の期待」として「新しい友達ができる（18%）」であった。
■指導者アンケートにおいて「地域クラブ活動（体験教室）で良かった点」として「学校を越えた参加による生徒同士のコミュニケーションの機会の創出（33%）」であった。
■指導者の意見として「多くの仲間と交流しながら学び合えることは重要であると思う」という意見が多数あった。
■教職員の意見として「他校生との交流があると生徒指導面の負担が増えるのではないか」と心配する意見もあった。



地域クラブ活動（卓球教室）

■卓球教室（5ブロック5会場）
○北部ブロック
（川内中・応神中）
会場：川内中・応神中
○東部ブロック
（附属中・徳島中・城東中）
会場：附属中
○中部ブロック
（八万中・富田中・津田中）
会場：八万中・富田中
○西部ブロック
（城西中・加茂名中・国府中）
会場：城西中・加茂名中・国府中
○南部ブロック
（南部中）
会場：南部中
○卓球部を設置していない中学校の生徒は、どのブロックに参加しても可
○活動費 100円／回

出典：R6【休日の地域スポーツクラブ活動】実施報告（徳島市教育委員会体育保健給食課）

今後の課題と対応方針

■徳島市の取組を、近隣の３中学校にも広く周知してことで、学校単独ではできにくい地域移行への取組を共に推進できる体制を構築できた。
■卓球教室については、安全面・移動距離の面から、自校以外が会場の時は参加しない生徒が一定数いた。ブロック割も含め、検討していきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実①

取組事項

■生徒の多様なニーズに対応できるよう、学校部活動にない競技についても各競技団体に協力依頼をし、体験教室を実施し、生徒がスポーツに親しめる機会を確保した。

■卓球教室については、卓球部設置の12中学校を５ブロックに分け、５会場で教室を開催した。中学校体育館を会場とし、ブロック内で会場使用可能校が複数ある場合は、会場をローテーションした。
トモニアリーナ（市立体育館）で合同練習会を2度、大会を1度開催した。

活動の詳細

参加人数	９２６ 人	指導者数	５０人
属性	指導者：各競技団体に所属		
具体的な内容	●「卓球教室」 ●体験教室「柔道教室」 ●体験教室「野球教室」 ●体験教室「ライフル射撃教室」 ●体験教室「ボウリング教室」 ●体験教室「太極拳教室」		
子供の声	●（卓球）自分の技術が上がった。うまくなったので学校の部活動がより楽しくなった ●（ライフル射撃）高校でライフル射撃部に入りたい。 ●（太極拳）今回だけでなく、これからもやってみたい。 ●（全ての教室）指導者が丁寧に教えてくれた。		
関係者の声	●（指導者）参加した生徒が熱心だったので、指導のやりがいを感じた。 ●（保護者）子どもが新しい体験をできてよかった。		
運営経費	●学校施設が会場 １００円／回 ●学校以外の施設が会場 ３００円／回		

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実②

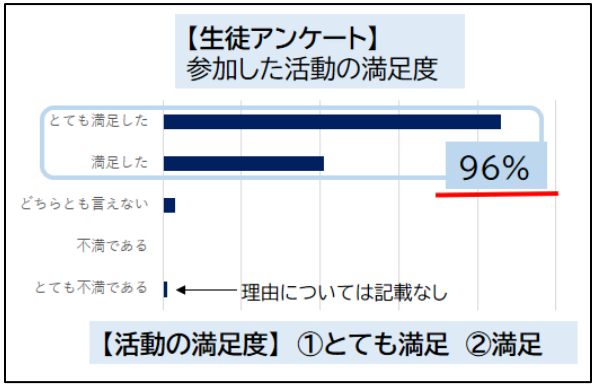
取組の成果

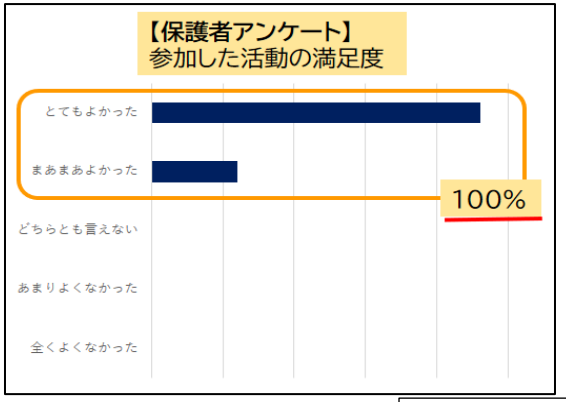
【モデル事業終了後のアンケートより】

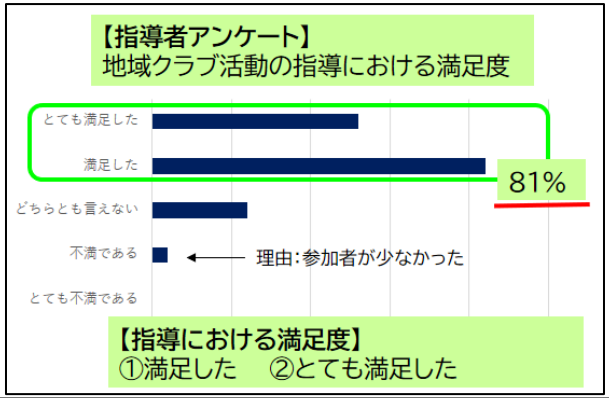
■生徒アンケートの「活動の満足度」は、『とても満足した』と『満足した』を合わせて96%であった。活動のよかった点として、『楽しかった』（70%）・『技術の向上』（66%）・『専門的な指導』（57%）をあげる生徒が多かった。

■保護者アンケートの「活動の満足度」は、『とてもよかった』と『まあまあよかった』を合わせて100%であった。

■指導者アンケートにおいての「活動の満足度」は、『とても満足した』と『満足した』を合わせて81%であった。







出典：R6【休日の地域スポーツクラブ活動】実施報告（徳島市教育委員会体育保健給食課）

今後の課題と対応方針

■今年度実施した「地域クラブ活動」では、学校部活動にある競技（卓球・柔道・野球）だけでなく、各競技団体の協力により「ライフル射撃・ボウリング・太極拳」教室開催の案内を周知し多様なスポーツに親しむ機会となるよう努めた。

■太極拳教室については、昨年は参加申込者がいなかったため開催中止となったが、今年は参加希望があり開催できた。参加者から「普段もやってみたい」と問い合わせがあったので、指導者と繋いだ。

■各教室とも、映像や資料等を活用し、競技についてわかりやすい説明や、生徒が楽しく興味を持って取り組める内容を工夫して頂き実施できた。

■参加した生徒からは「楽しく活動できた。」という意見が多数あった。

■保護者アンケートでは、「子どもにいろいろな経験をさせたい」という意見も見られたので、新しい競技での開催も進めていきたい。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

■参加費については、施設使用料が発生する ライフル射撃教室（徳島市ライフル射撃場）／太極拳教室（トモニアリーナ徳島市立体育館）／ボウリング教室（スエヒロボウル）300円を徴収し、学校施設を活用する卓球教室・野球教室は1回につき100円を徴収する形をとった。
その他諸経費（指導者の謝金・保険加入費等）は、国の事業を活用した。

地域クラブに係る経費

■イニシャルコストの分析

- Webページ制作　600千円

■ランニングコストの分析

- 指導者謝金　115千円
- 施設使用料　18千円
- 消耗品費　267千円
- 事務運営費　420千円
- 保険料　19千円

※年12回実施1クラブ(20名参加）の場合

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

■本市では、他の部活動を並行して実施していることから、受益者負担額については、低廉な金額にて設定を行っているため、部活動かつ学校施設を活用する教室は1回100円、民間や公共施設を活用する教室は1回300円にて設定している。

■持続可能な負担額の試算に向けて、15ページに記載する通り、アンケート調査を実施の上、検討を行った。

収支バランス

■上記で試算している通り、活動におけるランニングコストだけでも年間839千円程度かかるが、本市が設定する受益者負担額からの確保は20名の参加者で24千円程度と保険料を賄える程度である。参加費の再設定を行う他、一定額は公費による支援を行う必要があるため、課題であると考えている。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等②

取組の成果

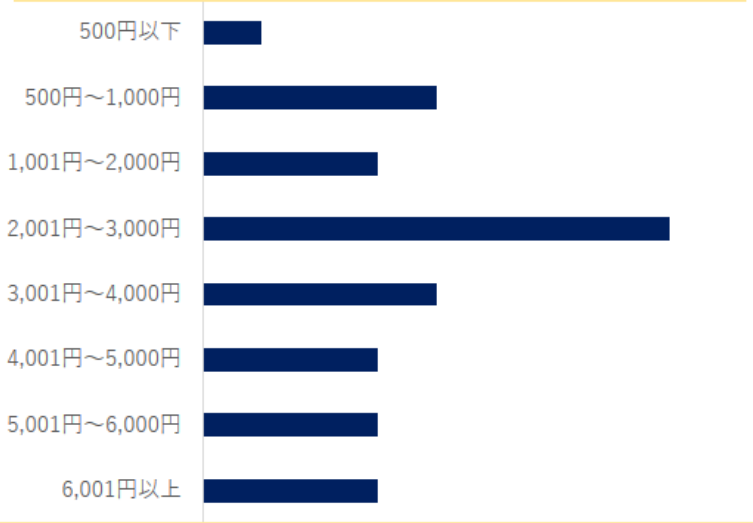
【モデル事業終了後のアンケートより】

■保護者アンケートにおいて「今後、学校部活動が地域クラブ活動へ移行する場合、どのような不安がありますか」について「保護者の負担が増えないか（16%）」「地域クラブ活動が受益者負担になった場合、負担できる金額（週1回月4回）の活動」について「2001円～3000円」が一番多く、続いて「500円～1000円」「3001円～4000円」であった。

■指導者アンケートにおいて「地域クラブ活動（体験教室）における課題」について「謝金単価が安い（10%）」「謝金単価が高い（0%）」であった。

■指導者アンケートにおいて、「学生のアルバイトとしてはよいが、仕事としては、謝金が低すぎるのではないか」という意見もあった。

【保護者アンケート】
受益者負担になった場合負担できる金額感は
（週1回／月4回）



①2,001円～3,000円　② 500円～1,000円
②3,001円～4,000円

出典：R6【休日の地域スポーツクラブ活動】実施報告（徳島市教育委員会体育保健給食課）

今後の課題と対応方針

■参加費用については、保護者宛文書等で「地域クラブ活動は受益者負担が原則となること。今年度は、国の支援を活用し、段階的に保護者負担を支援すること」等の周知をした。

■１回につき100円を徴収した卓球教室では、参加費が高いという声もあった。学校部活動と地域クラブ活動との違いについて、生徒・保護者へ丁寧な説明を続けていきたい。

■今後については、国・県の支援等を活用しながら段階的に検討していく必要があると考える。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組事項

■学校施設を有効に活用できるよう校長会で説明し、各学校の現状や課題を踏まえ、情報交換しながら協力依頼を行った。

■卓球教室の活動場所については、卓球部を設置している12の中学校を5ブロックに分け、それぞれのブロックの中学校体育館を会場とした。同一ブロックで、体育館使用可能な学校が複数ある場合は、会場をローテーションすることとした。

■学校施設を活用するにあたっては、卓球協会の指導者が学校訪問し、体育館の施錠・備品等の確認を行い、卓球部顧問と練習日時を調整できるように連携を密にとれる体制を構築した。

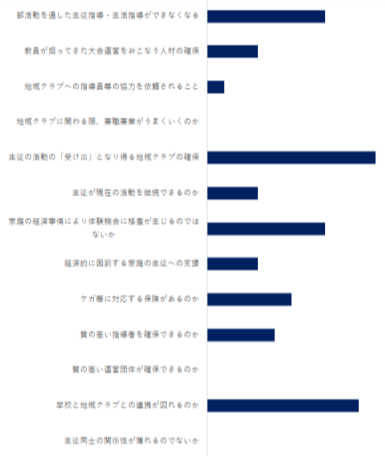
取組の成果

【モデル事業終了後のアンケートより】

■保護者アンケートにおいて「今後、学校部活動が地域クラブ活動へ移行する場合の不安」について「会場までの交通手段（24%）」であった。

■卓球部顧問教職員アンケートにおいて、学校施設が会場となった場合の不安な点（自由記述）では、「自転車での移動等、安全面の不安がある」「取組としてはよいと思うが、学校が会場となれば、その学校の負担になるのではないか」「距離的な問題で参加したくてもできない生徒がいた場合、その生徒の運動機会ややる気を奪うことにならないか」というものがあった。
また、他校生とのトラブルが起こった場合の対応・生徒指導についても不安視する記述が見られた。

【卓球部顧問教職員アンケート】
休日の学校部活動を地域クラブ活動に移行していくことに対し、心配なこと



【卓球部顧問の意見（自由記述）】

【今後に期待する意見】
■今後は、卓球以外のスポーツにも地域移行が進んでいき、教職員の負担をなくすとともに、子どもにとって良い環境で運動や文化体験ができるようになることを期待しています。
■私自身が卓球に明るくなく、部活動の場所に行っても見守ることしかできず、技術的指導の面では役に立たないのに居なければならないというのが精神的にも時間的にも負担を感じます。部活動の地域クラブ活動への移行によって、生徒が技術面でも尊敬できる大人から指導を受けられるという点が非常に素晴らしいと思います
■小さな中学校では実施できなかった部活動が可能になり、生徒の選択のはばが広がる。
■未経験の部活を受け持つこともあるし、部活指導が非常に負担。本来の教科指導に当てる時間もない。教員の負担を何よりも軽減してほしい。
■他府県の動きを見て、徳島県も可能なかぎり、迅速にすすめてほしいと感じる。

【不安・心配な意見】
▲生徒間のトラブルが生じた際の対応。
▲クラブ内での生徒指導について、学校の教員のやるものとの差ができるのではないか。
▲自転車での移動等、安全面の心配がある。
▲取り組みとしてはよいと思うが、学校が会場となれば、その学校への負担になるのではないか。
▲距離的な問題で参加したくてもできない生徒がいた場合、その生徒の運動機会ややる気を奪うことにならないか。

出典：R6【休日の地域スポーツクラブ活動】実施報告（徳島市教育委員会体育保健給食課）

今後の課題と対応方針

■設備の整った公共施設を活動場所として活用できると、より実践練習ができ効果的である。しかし公共施設の空きが少なく日程調整には厳しい現状がある。今後も関係機関等と連携しながら、活動場所確保に努めたい。

■生徒の移動負担の面からは、学校施設を有効活用すべきであるが、各学校の理解と協力が不可欠となる。今後も活動場所確保のため連携しながら推進していきたい。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総　括

成果

○安全安心な運営

生徒・保護者それぞれのアンケート結果で「安全安心な運営」の評価はたいへん高かった。事故やけが、生徒間のトラブル等がなく事業を終了できたことが大きな要因ではあるが、指導者が活動中の安全配慮を徹底したことに加え、コンプライアンス意識をもった指導がなされたことも、生徒だけでなく、保護者にも安心感をもってもらえる要因となったと考えている。

○高い満足度

アンケートでは、生徒（96%）、保護者（100%）と、たいへん高い満足度だった。指導者アンケートでは、「生徒が楽しみながら積極的に活動してくれたので、うれしかった。」という回答もあり、指導者にとってもおおむね満足のいくものであったようである。

○運営面の改善（卓球）

卓球では、昨年度の事業終了時に、次年度実施したいこととして挙げていたことがいくつか実現した。「同一ブロック内で会場使用可能校が複数ある場合は会場をローテーションすること」、「合同練習会の開催（市立体育館：2回）」、「大会の開催（R7.2.24）」などがあるが、なかでも、体育館の鍵の管理を指導者（卓球協会）に任せていただけたことは、教職員の施錠等の手間がなくなり、教員の働き方改革につながったと思われる。

課題

●生徒のスポーツ活動機会減少のおそれ

卓球教室の状況から、自校以外が活動場所となった場合、安全面や距離的な面から参加を見合わせる生徒が少なからず存在することが分かった。

●保護者の送迎の負担の問題

自校外の活動が増えると、保護者の送迎の負担が増える可能性がある。保護者アンケートでもこの点を不安視する声があった。

●指導者確保の問題

技術指導ができ、かつ休日や平日に中学生を指導できる人を確保するのは大変難しい。

● 適正な参加者負担金額の設定

地域移行した場合、指導者への報酬や施設利用料などは参加者負担となるが、本実証事業では、そのほとんどが国の事業費のため、参加費はたいへん低く設定している。しかしながら、１回の参加につき１００円を徴収している卓球でも、「参加費が高い」という意見があるなど、生徒や保護者が納得できる価格と実際の運営費には隔たりがあり、さらなる検証が必要である。

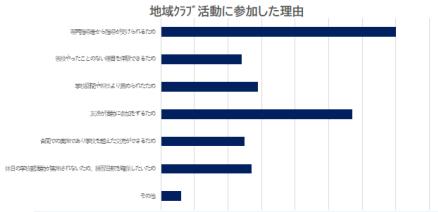
次年度については、今年度得られた成果や課題を検証し、本市の実情に応じた体制を構築できるよう、実証事業を続けていきたい。

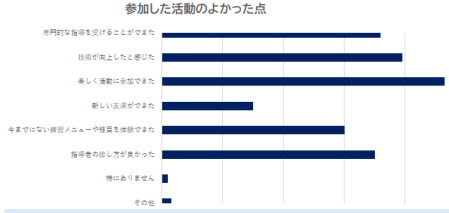
2.実証内容と成果②

スポーツ庁

アンケート結果／参加生徒・保護者

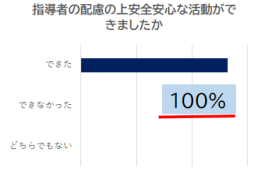
【参加生徒アンケート】（132名／回答）



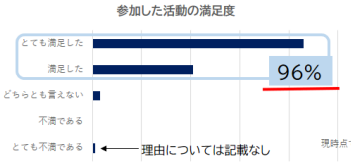


【地域クラブ活動(体験教室)／参加理由】
①専門的指導が受けられるから ②友達が参加するから
③顧問や担任から薦められたから

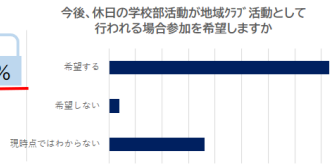
【活動のよかった点】
①楽しく活動に参加できた ②技術が向上したと感じる
③専門的な指導を受けることができた ④指導者の接し方がよかった



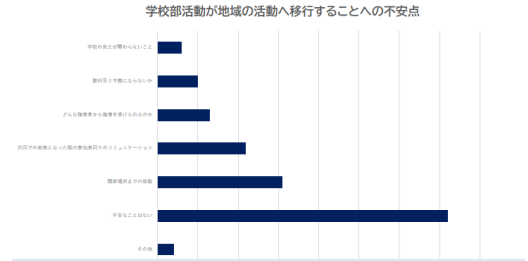
【安全安心な活動】①できた



【活動の満足度】①とても満足 ②満足



【今後の参加】①参加する ②現時点では不明



【学校部活動が地域クラブ活動へ移行することへの不安点】
①不安はない ②開催地までの移動 ③参加者同士のｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ

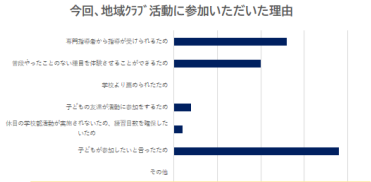
【生徒の意見(**卓球以外**の教室)/感想】

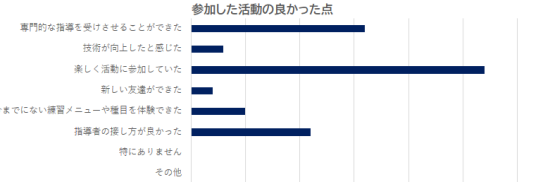
◎とても楽しく活動できた。色々とアドバイスをしてくれてうれしかった
◎クーラーがあって熱中症の心配をせず練習ができた（柔道）
◎ちがう学校の友達も増えてきて不安はない。
◎今までにやったことのない種目ができた。
◎練習と休けいのメリハリがあって安全安心に活動ができた。
◎城南高校か城西高校に入ってライフルをしてみたいと思いました。
△休日は、予定が入ってたり、そうでなかったり、親の送りむかえができるかの状況によっていける日、いけない日があるため、（来年は）いけるかは、わかりません。

【生徒の意見(**卓球教室**)/感想】

◎安全に楽しく練習ができて、優しく指導してくれてうれしかった。
◎指導者が適切な指示を出してくれ、トラブルなくできた。
◎普通とは少し違った練習メニューがあっておもしろかった
◎しっかりと教えてくれて技術が向上したし、新しい練習方法や考え方がうまれた。
◎参加してから確実に強くなったと実感した。
◎今まで知っていた技術に加えて、新たな技術を学べた
◎卓球が上手くなっているという実感がわき、日々の部活動が楽しかった。
◎部活動を引退しているけど練習をすることができた。
◎今まで、体育以外でスポーツをしたことがなかったので、本格的にスポーツを体験することができて、楽しかったし、良かったと感じています。
△前回までの卓球教室に参加していたけど、去年と変わりはなかった。
△1日100円は高い。

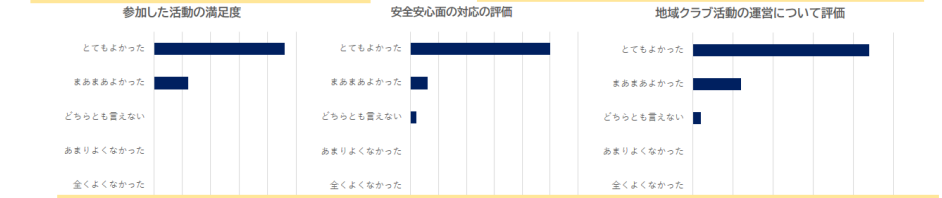
【保護者アンケート】(108名／回答)



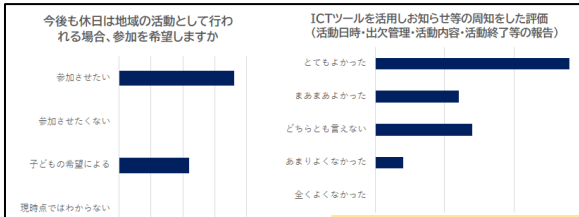


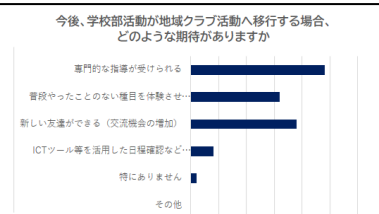
【地域クラブ活動(体験教室)／参加理由】
①子どもが参加したいと言ったから
②専門指導者から指導が受けられるから

【活動の良かった点】
①楽しく活動に参加できた ②専門的指導が受けられた
③指導者の接し方が良かった



【活動の満足度／安全安心面の対応評価／運営面評価】①とてもよかった ②まあまあよかった

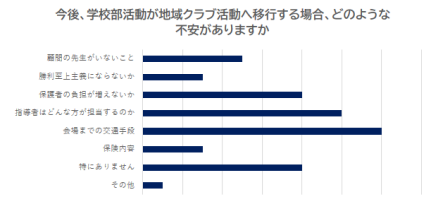


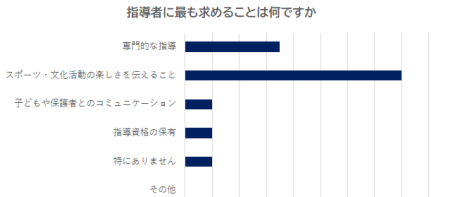


【今後の参加について】
①参加させたい
②子どもの希望による

【ICTツールについて】
①とてもよい
②どちらとも言えない

【地域クラブ活動へ期待すること】
①専門的な指導が受けられる
②新しい友達との交流





【地域クラブ活動へ移行する場合、不安な面】
①会場までの交通手段 ②指導者の人材 ③保護者負担

【指導者に求めること】
①楽しさを伝える ②専門的な指導

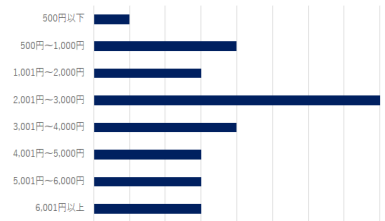
【アンケート結果】 出典：R6【休日の地域スポーツクラブ活動】実施報告（徳島市教育委員会体育保健給食課）

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

アンケート結果／保護者・指導者

地域クラブ活動受益者負担になった場合負担できる金額感は
（週1回／月4回の活動）



【保護者が負担できる金額の目安(月4回)】
①2,001円～3,000円　② 500円～1,000円

【保護者の意見(自由記述)/気になる点・課題】

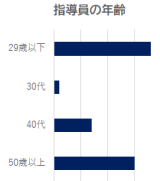
△個人情報が漏れていないか心配だった。
△アプリの使い方がよく分からなかった。
△開催地まで移動するときの安全面が心配

【保護者の意見(自由記述)/良かったこと】

◎丁寧に指導していただきました。いい経験ができました。
◎指導者の方々がほぼボランティアにも関わらず、熱心に子どもたちのことを思って指導してくださる環境、感謝です。
◎専門の指導者がいるという安心感。
◎体験が出来ることは子供の可能性を見つけるのにとても良かったと思います。
◎他校の子たちと関わる機会がとてもありがたかった。学校の部活だと限られた子との交流だが、子供の世界が広がるし子ども自身のコミュニケーション能力の向上も期待できるので良い活動だなと思った。
◎（子どもが）自分の興味があったことを確信できたようです
◎部活が少なくなっているので、こういう場がもっとあればいいと思う。特に中学生の居場所がないので、増やして欲しい
◎よい経験になった。今後も色々なクラブの体験をさせ気に入ったら継続させたい。
◎ライフル楽しかったので、クラブが出来たら参加検討したいです。
◎扇風機や補水など熱中症にならないよう気にかけてくれていました。
◎携帯で簡単に出欠の報告ができ、また活動内容についても認識しやすかった。
◎活動の様子を共有していただけたので、見学できなくても様子がわかってよかった。

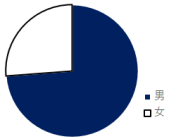
【指導者アンケート】（42名／回答）

指導員の年齢



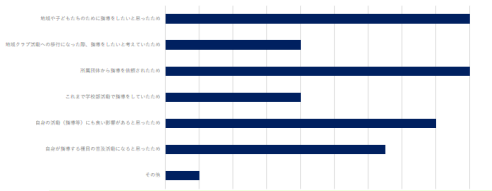
【指導者の年齢】
①29歳以下(ライフル高校生含)

指導員の性別



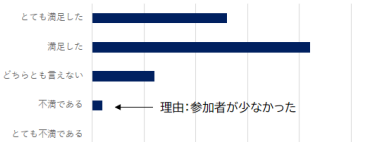
【指導者の性別】
男性75%／女性25%

今回、地域ｸﾗﾌﾞ活動(体験教室)でご指導頂いた理由



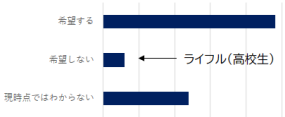
【地域ｸﾗﾌﾞ活動(各教室)で指導頂いた理由】
①地域の子供たちのために指導をしたいと思ったから
①競技団体等から依頼されたから

地域ｸﾗﾌﾞ活動(体験教室)の指導における満足度



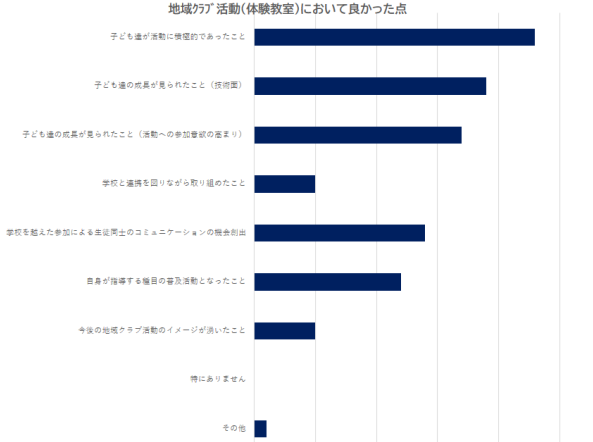
【指導における満足度】
①満足した　②とても満足した

今後、休日の学校部活動が地域ｸﾗﾌﾞ活動として行われる場合、指導を希望しますか



【今後の指導希望】
①希望する　②現段階ではわからない

地域ｸﾗﾌﾞ活動(体験教室)において良かった点

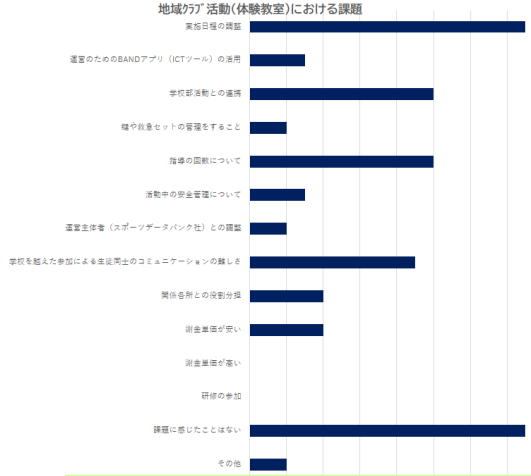


【地域ｸﾗﾌﾞ活動(各教室)で良かった点】
①子供が活動に積極的であった　②子供の成長(技術面)
③子供の成長(意欲向上)　④生徒同士のコミュニケーション機会の創出

【指導者の意見(自由記述)】

◎指導経験がなかったが、教えるうちに生徒が上手くなっていって嬉しかった。
◎子どもの成長が楽しい。
◎指導を通して、子ども達の成長や自身の指導力の向上を感じられた。
◎こちらの指導力不足を痛感するものの、生徒達の積極的な意欲を見れたのは大変良かった。
◎違う環境で練習ができて、他の方の教え方、伝え方など非常に勉強になった。
◎参加してくれた子ども達は熱心でとても良い活動ができたと思う。
◎子どもたちの成長とともに自分自身もプラスになったと思えた。
◎中学生の子どもたちと楽しくコミュニケーションをとりながら指導できた。

地域ｸﾗﾌﾞ活動(体験教室)における課題



【地域ｸﾗﾌﾞ活動(各教室)における課題として】
①実施日時の調整　②学校部活動との連携　②指導の回数

【指導者の意見(自由記述)】

△地域移行するのであれば、指導者の確保が必要。
△指導者不足になっている会場もあり、参加者に満足してもらえてるかどうかが不明。
△自分の学校以外での活動への参加者が少なく交流ができなかったことが残念。（卓球）
△部活動で、どのような練習をしているのか分からないので顧問と連携することができればよりよいと思う。
△他校生とのコミュニケーションがもっとあれば生徒の刺激になってよいと思う。
△学生のアルバイトとしては良いが地域移行を仕事にするのは無理がある謝金ではないかと感じた。
回数が増えれば学生の参加者は増えるかもしれない。
△競技力の向上のためには、回数・時間ともに少ないと思う。
△指導者の人数が少数だと何かと負担になる部分が多く、細かい部分までは見られない。
◎子供が成長する為に必要な事だと思う。（子どもたちにとって）今後も色々な事に参加する事がいいと思う。

【アンケート結果】 出典：R6【休日の地域スポーツクラブ活動】実施報告（徳島市教育委員会体育保健給食課）

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

アンケート結果／卓球部顧問教職員

【卓球部顧問教職員アンケート】(28名／回答)

○卓球部が設置されている学校１２校へ回答依頼。
○卓球部顧問２８人から回答
○２８人のうち、
・生徒が卓球教室に参加している学校の顧問…１９人
・生徒が卓球教室に参加していない学校の顧問…９人

「地域クラブ活動(体験教室)」を行ったことで自身の負担軽減につながったか

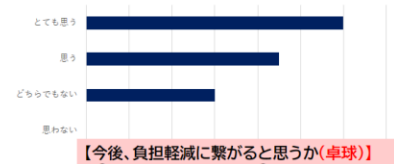


【自身の負担軽減になったか(卓球)】

～(卓球)／自身の負担軽減になったか～

◎部活に行く時間が減った分、少し休息をとれたり、本業の仕事に時間をとったりできる。
◎月２回の土曜日、休養や別の仕事をこなすことができた。
◎休日に出勤して部活動をする必要がなくなった。
◎土日に休むことができるようになり、休養、翌週への準備などができ、助かりました。
◎負担軽減というよりも競技力の向上につながったと思う。
△本校卓球部の生徒は参加していないため負担軽減にはなっていない。

今後「地域クラブ活動(体験教室)」のような取組の活動回数が増えると自身の負担軽減に繋がると思うか



【今後、負担軽減に繋がると思うか(卓球)】
①とても思う　42％　②思う　32%

～(卓球)／今後、負担軽減に繋がると思うか～

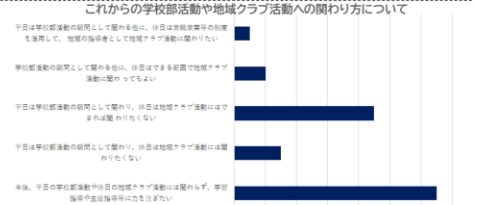
◎ゆとりをもって土日をすごしリフレッシュすることができるから。今後も地域クラブ活動の回数が増えることを期待している。
◎自分も他の顧問も卓球経験者ではないため、指導技術を持っている人に生徒が教わる機会があるのは助かります。自身の教材研究に当てる時間が増えますので助かります。
△学校教育の根本は部活指導であると考える教員も確かに存在する。部活を通じて構築される生徒との人間関係、生徒指導的要素はあまりにも大きい。簡単に地域移行する社会の風潮を危惧している。

休日の学校部活動を地域クラブ活動に移行していくことに対し、どのようなことに期待しているか



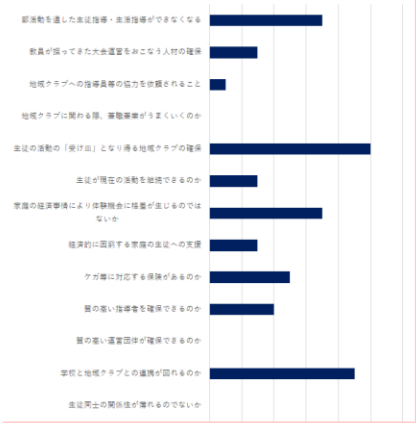
【今後、地域クラブ活動への移行に対し期待すること】
①教職員の負担軽減
②生徒にとって適切な活動環境が確保されること
③部活動以外の学習指導・生徒指導に注力できること

これからの学校部活動や地域クラブ活動への関わり方について



【今後、地域クラブ活動への関わり方】
①平日休日とも、学習指導・生徒指導に力を注ぎたい(46%)
②平日は部活顧問・休日は関わりたくない(32%)

休日の学校部活動を地域クラブ活動に移行していくことに対し、心配なこと



【今後、心配なこと(卓球)】
①受け皿となるクラブの確保　②学校との連携

【卓球部顧問の意見(自由記述)】

【今後に期待する意見】
■今後は、卓球以外のスポーツにも地域移行が進んでいき、教職員の負担をなくすとともに、子どもにとって良い環境で運動や文化体験ができるようになることを期待しています。
■私自身が卓球に明るくなく、部活動の場所に行っても見守ることしかできず、技術的指導の面では役に立たないのに居なければならないというのが精神的にも時間的にも負担を感じます。部活動の地域クラブ活動への移行によって、生徒が技術面でも尊敬できる大人から指導を受けられるという点が非常に素晴らしいと思います
■小さな中学校では実施できなかった部活動が可能になり、生徒の選択のはばが広がる。
■未経験の部活を受け持つこともあるし、部活指導が非常に負担。本来の教科指導に当てる時間もない。教員の負担を何よりも軽減してほしい。
■他府県の動きを見て、徳島県も可能なかぎり、迅速にすすめてほしいと感じる。

【不安・心配な意見】
▲生徒間のトラブルが生じた際の対応。
▲クラブ内での生徒指導について、学校の教員のやるものとの差ができるのではないか。
▲自転車での移動等、安全面の心配がある。
▲取り組みとしてはよいと思うが、学校が会場となれば、その学校への負担になるのではないか。
▲距離的な問題で参加したくてもできない生徒がいた場合、その生徒の運動機会ややる気を奪うことにならないか。

【アンケート結果】 出典：R6【休日の地域スポーツクラブ活動】実施報告（徳島市教育委員会体育保健給食課）

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

広報資料／参加募集パンフレット・指導者募集パンフレット



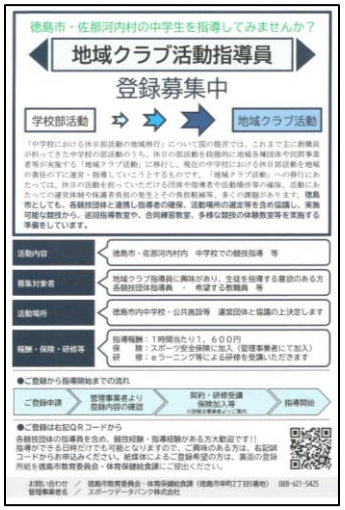
【地域クラブ活動（体験教室）参加募集パンフレット】おもて



【地域クラブ活動（体験教室）参加募集パンフレット】うら



【地域クラブ活動（卓球教室）参加募集パンフレット】





【地域クラブ活動／指導員募集パンフレット】

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

参考資料（活動写真）






【卓球教室】



【ライフル射撃教室】



【ボウリング教室】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和４年

協議会設置・検討開始／実態調査／教職員への周知 ▶ 生徒・保護者へ周知説明／関係機関への周知と協力依頼 ▶ 生徒・保護者・教職員へ意向調査／各競技団体へ協力意向調査

令和５年

各競技団体と連携し指導者派遣依頼／活動場所調整／学校施設開放依頼と調整 ▶ 安全安心な運営体制構築／地域クラブ活動の開始

令和６年

前年度の課題等を検討し、地域クラブ活動を実施

●協議会設置/検討開始

各競技団体代表・体育施設代表・学校代表・体育連盟代表・市教委・市文化ｽﾎﾟｰﾂ振興課等が集まり、それぞれの立場から意見交換できた。

●教職員への周知と実態調査（現状把握）

市内中学校の部活動の現状を調査し、協議会で報告したことで、持続可能な部活動の在り方を検討する上で、より具体的にイメージできた。

●生徒保護者・各競技団体へ周知説明

生徒・保護者・各競技団体（24競技）・各地区体協（24地区）に部活動の現状を含め、地域移行に関わる国の動きや対応について、文書を配布し、理解と協力を求めた。地区体協からは「高齢化による運営の難しさ」等で具体案が進まなかった。

●生徒・保護者・教職員へ意向調査

市内全中学校にｱﾝｹｰﾄを依頼し、各自二次元ｺｰﾄﾞから回答してもらった。自由記述の欄を設けたことで、様々な意見を集約することができた。

●各競技団体へ協力意向調査

各競技団体に、協力可能な内容（指導者派遣・活動場所や活動機会の提供）の意向を確認できた。意向調査を通し、具体的な協力内容が確認でき、マッチングの資料と　なった。

●各競技団体に指導者派遣依頼

指導者確保に関しては各競技団体の協力が必要であるため、各競技団体への説明等を丁寧に行い、まずは体験教室という形で、少しでも前に進められるよう交渉できた。

●活動場所確保のため各施設管理者と日程調整

公共施設の空き状況等を確認し、　指導者との日程調整をしながら、施設確保のために調整を行った。

●学校施設開放に向け協力依頼

学校施設の有効活用については　生徒管理や他校生との交流を想定した課題が多くあった。校長会でも丁寧に説明し協力依頼し、施設管理（鍵の施錠）体制構築に向け関係者と学校訪問し理解促進に努めた。

●安全安心な運営体制構築

ICTツールを活用し、参加生徒・　保護者・指導者との情報交換をスムーズにできるような体制づくり（出欠管理周知・活動内容のお知らせ等）ができた。

●指導者の資質向上対応

指導者には指導研修として「指導ﾏﾆｭｱﾙ」を配布し、指導にあたっての諸注意を指導するとともに、各自でeﾗｰﾆﾝｸﾞによる研修を受講できる体制を活用し、思春期の子供たちとの関わり方やハラスメント防止等についても詳しく周知できた。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

【徳島市・徳島市教育委員会　部活動の地域連携や地域スポーツクラブ活動移行に向けた環境整備（案）】

令和7年度までに競技種目毎に計画的に創設し、円滑運営をサポートする

	2022年度(R4)	2023年度(R5)	2024年度(R6)	2025年度(R7)	R8
徳島市教育委員会	■協議会設置 ■部活動地域移行方針の策定 ■教職員への周知 ■生徒・保護者への周知・説明 ■関係機関（各競技団体等）への周知と協力依頼 ■実態調査（学校） ■ｱﾝｹｰﾄ実施 （生徒・保護者・教職員） ■協力調査（各競技団体）	**実証事業** ■協議会で検討 ■各競技団体等と連携し指導者派遣依頼・確保 ■活動場所調整・確保 ■安全安心な運営体制構築 **■地域ｸﾗﾌﾞ活動（体験教室）（卓球・弓道・陸上・ﾗｲﾌﾙ射撃 体幹ｽﾄﾚｯﾁ・ﾎﾞｳﾘﾝｸﾞ）実施** ■実証事業後ｱﾝｹｰﾄ実施 ■成果・課題の検証	**国の事業活用** ■協議会で検討 ■各競技団体と連携し指導者派遣依頼・確保 ■活動場所調整・確保 ■安全安心な運営体制構築 **■地域ｸﾗﾌﾞ活動（各教室）円滑な運営をサポート（卓球・ﾗｲﾌﾙ射撃・柔道・野球 ﾎﾞｳﾘﾝｸ・太極拳）実施** ■実証事業後ｱﾝｹｰﾄ実施 ■成果・課題の検証	■Ｒ６の検証を生かし、Ｒ８以降も持続可能な実践的な形での運営をサポート	可能な競技から休日の地域クラブ活動を実施
徳島市（文化スポーツ振興課）	■協議会で今後の検討	■協議会で今後の検討	■協議会で今後の検討		